

## 地域とともにある教育活動の推進 ～ 学校・家庭・地域で紡ぐふるさとの絆 ～

柳井市立柳井南小学校

### 1 はじめに

本校は、柳井市の南部、柳井湾沿いに位置し、温暖で豊かな自然に囲まれた環境にある。平成17年に伊保庄小学校と阿月小学校が統合した児童数47名の小規模校である。校区内には「八幡山古墳群」や国の重要無形民俗文化財指定の火祭り「阿月神明祭」、また、維新の志士を多く輩出した私塾「克己堂」の表門も残っており、文化・教育への関心が高い土地柄である。



【教室からの風景】

開校以来、学校・家庭・地域がよりよい関係を築きながら、地域の宝である子供達を大切に育てており、恵まれた環境の下、本校の児童は、素直で優しくのびのびと育ってきている。

本市は平成20年に「学校運営協議会」を設置し、コミュニティ・スクールとして学校、保護者、地域3者が思いを共有しながら「地域とともにある学校づくり」に取り組んでいる。さらに平成28年からは「学校、家庭、地域の連携による人づくり、まちづくり」をめざし、地域と学校が一体となって学んでいける学びの共同体「スクール・コミュニティ」として「教育のまちづくり」を進めている。それ故、学校は児童だけの教育の場ではなく、地域で生活する様々な世代の交流の場・学びの場としての役割も担っている。「楽しく学び仲良く集う」を本校のモットーとし、創意工夫をしながら地域に根ざした教育活動の継続に取り組んでいる。

### 2 活動の実際

#### 一連の学習活動の様子

【粃まき～田植え～稲刈り～もちつき】

#### (1) 稲作体験

毎年、地域の方の田を体験田として借用し、地域の方の協力の下、児童が粃まき・田植え・稲刈り・もちつきの体験学習を行っている。

本年度はコロナ禍で中断していたもちつき体験学習を「伊保庄餅つき唄保存会」の方とともに3年ぶりに実施することができた。100年以上続く「伊保庄もちつき唄」を全校児童が歌いながら杵をつく様子は圧巻であった。特に初めて稲作体験をした1年生や初めてもちつき体験学習に参加した2・3年生も「伊保庄もちつき唄」の歌詞や節回しをしっかりと覚え、全員で収穫の喜びを味わうとともに伝承されてきたふるさとの文化を肌で感じることができたことは大きな成果であった。



#### (2) 和太鼓演奏

和太鼓「皆波(みなみ)」は、学校統合の際、阿月地区と伊保庄地区の2つ地域の文化と人々の心を融合し学校が新たな地域の核となるようにと考えられたもので、本校の伝統として、上学年から下学年に引き継がれている。児童は、「阿月神明祭」で使われている本物の「神明太鼓」を打つことに憧れと誇りを持っており、毎年、講師を招聘し上学年児童が6月から本格的に練習を開始し、



【熱心に講師の指導を受ける児童】

指導を受けている。

主な活動は以下の通りである。

- ① 6月：講師来校による練習（1回）
- ② 10月：講師来校による練習（1回）
- ③ 11月：かがやき集会(児童集会)にて発表



【かがやき発表会での演奏】

- ④ 11月：柳井市音楽会にて発表
- ⑤ 11月：かがやき発表会(学習発表会)にて発表
- ⑥ 11月：下学年への引継ぎ
- ⑦ 2月：「山城太鼓」来校にて模擬演奏会

\* 「地域活性化活動助成金」は主に公民館保存の太鼓の運搬費等に活用（公民館 ↔ 学校）



【「山城太鼓」の演奏鑑賞】



【柳井市音楽会 堂々とした演奏】

本年度も、柳井市の音楽会と「かがやき発表会」の両方で演奏を披露することができた。音楽会では、迫力のある本校子供達の和太鼓演奏「皆波」がオープニングを飾り、会場の雰囲気盛り上げた。また、保護者や地域の方々は一年間の最後の舞台となる「かがやき発表会」での和太鼓演奏を毎年大変楽しみにされており、それを知っている子供達は万感の思いを込めて演奏に臨んだ。心と体に響く太鼓の鼓動が会場全体を包み込み、昨年を上回る力強いかけ声と見事なばちさばきで全員を魅了した。

このように、本校の和太鼓演奏は学校文化発信の要である。和太鼓を地域の学習素材として「学校・地域連携カリキュラム」に位置づけることで、子供達が地域の伝統文化を大切に受け継ぐことを、多くの方々に知っていただくことにも繋がっている。

### 3 成果と課題

温かな雰囲気の中で行われる「稲作体験」「和太鼓演奏」を通して、子供達は、ふるさとの人やもの、ことを大切に作る心を育てている。地域の方々からも子供達との活動を通して、「子供達が一生懸命に取り組んでいる姿を見ると元気になる」「子供達が地域の伝統文化である『神明太鼓』の担い手として育てていることが嬉しい」「コロナ禍で途絶えていた餅つきを『伊保庄もちつき唄』を歌いながらまた一緒にすることができ、自分達も楽しかった。お陰で勤も取り戻せた」という感想をいただき、保護者や地域の方々から毎年高い評価を得ている。

学校と家庭、地域とのよりよいパートナーシップの構築に向けた特色ある本校の伝統的な取組を継続・発展させることで、子供達だけではなく、大人の郷土愛や地域貢献への気持ちも育むことができていると実感している。

今後も安心安全を最優先に考えながら、大人と子供、皆が人づくり、まちづくりへと絆を深め、広げていけるよう、「楽しく学び仲良く集う」学校運営に努めていきたい。